

地歴公民 (日本史) 慶應義塾大学 経済学部 1/1

I 問1 (1) 4 (2) 3 (3) 1

問2 ① 灰吹法

② キリスト教布教によるスペインやポルトガルの侵略や信徒が団結することを恐れて、幕府は禁教令を出し、信者に改宗を強制した。さらに日本人の海外渡航や帰国を禁止し、島原の乱のあと絵踏を強化し、南蛮船の来航を禁じた。(103字)

③ 金貨の品質を大幅に引き下げる万延貨幣改鑄を行い、金の流出防止を図った。(35字)

問3 ア 蛮書和解御用 イ 蕃書調所

問4 ① 琉球王国は、独立した王国として中国に朝貢して冊封を受ける一方で、幕府にも慶賀使や謝恩使を派遣するなど、中国・幕府との二重外交体制を保った。(69字)

② 幕府は長崎での清との倭物貿易を独占していたが、薩摩藩は松前から長崎に向かう途中の船から倭物を買上げ、琉球を通して清に売却する密貿易を行った。(70字)

問5 ① 内国勸業博覧会

② 政府官僚による専断の弊害を批判し、公選による議会の開設を要求した。(33字)

問6 (4) 6 (5) 2 (グアム) (6) 8 (ハワイ) (7) 3 (サイパン)

問7 (8) 5 (9) 2 (10) 6

問8 (11) 2 (12) 4 (13) 1

II 問9 高橋是清

問10 (14) 5 (15) 2 (16) 4

問11 天皇を頂点とする公議政体の平和的樹立を目指す土佐藩の考えを受け入れて、徳川慶喜は新たに樹立される雄藩連合政権で政治の主導権を握ろうとした。(69字)

問12 イギリスは、シベリア鉄道を計画し東アジア進出を図るロシアを警戒し日本への態度を軟化させたが、大津事件で青木周蔵外相が辞任して交渉は頓挫した。(70字)

問13 2

問14 皇道派は直接行動による既成支配層の打倒と天皇親政実現を理想とし、統制派は革新官僚や財閥と結んだ軍部の強力な統制の下での総力戦体制樹立を目指した。二・二六事件後には統制派が皇道派を排除して陸軍の主導権を確立した。(105字)

問15 ① ア - シェアアップ イ - ドッジ a - 経済安定九原則

② b - 戦後

③ (17) 5 (18) 0 (19) 4 (20) 1

III 問16 日本の米の前年生産量が、低下すると輸入量が増加し、上昇すると減少する。(35字)

問17 仏領インドシナでは輸出の増加による米価騰貴と米不足を危惧し、英領インドでは不作による食糧不足を回避するため、米穀の海外輸出を禁止・制限した。これを受けて日本では両地域からの輸入米が減少したが国内生産量が増加し、一方で植民地の朝鮮で米穀を増産させ、日本国内への米穀の移入を増やした。(140字)